

新虎通りの新たなシンボルを、ストリートアーティスト HITOTZUKI が制作 12月22日、『新虎通り CORE』にミューラル作品登場 飯田昭雄が、高さ4.5メートル、幅14.3メートルの巨大作品をプロデュース

森ビル株式会社が運営する「新虎通り CORE」(新橋4丁目1-1)1階の店舗「THE CORE KITCHEN / SPACE」内に、2018年12月22日(土)、ストリートアートやミューラル(壁画)で日本を代表するアーティストユニット「HITOTZUKI(ヒトツキ)」の制作による巨大ミューラルが登場します。

「HITOTZUKI(ヒトツキ)」は、1999年より活動を続ける KAMI と SASU の2名のアーティストユニットで、「異なる世界の調和」をテーマにした作品を多く制作、世界各国で活躍し森美術館「六本木クロッシング 2010 展:芸術は可能か?」をはじめ、国内外の様々な展覧会などに出演しています。

今回は、クリエイティブディレクターとして、国内外のストリートアーティストに精通する飯田昭雄氏のキュレーションにより、ワーク・イン・プログレス形式で、新虎通りの新たなシンボルとなるミューラル作品を制作。高さ4.5メートル、幅14.3メートルに及ぶこの作品は、HITOTZUKIの唯一無二の世界観が虎ノ門を訪れる人の心にインパクトを与え、新しい生き方の提案にも繋がる可能性を持っています。



作品完成イメージ

作品が設置される「新虎通り CORE」は、東京の新しいシンボルストリート・新虎通りの、賑わいと交流の核(コア)として、本年10月18日(木)に開業。その1階に位置し、新虎通りに面した「THE CORE KITCHEN / SPACE」は、クリエイティブでイノベティブな人々が集うエリアの新たなコミュニティの場となるべく、カフェ・ダイニングと大型イベントスペースを融合したクリエイターズ・ハブとしてオープンし、企業のイベントから、社会人向けのデザインイノベーション講座まで様々な情報を発信しています。

森ビルは、「森美術館」や「森ビル デジタルアート ミュージアム:エプソン チームラボ ボーダレス」を運営する他、虎ノ門ヒルズエリアでも、パブリックアートの設置や、新虎通り沿道のビル壁面にミューラルを描く「TOKYO MURAL PROJECT」など、アートによる街の活性化に取り組んでいます。今後も、本エリアにおける「国際新都心・グローバルビジネスセンター」の形成を目指して、人々の知的好奇心や想像力を刺激するアートを展開し、更なる賑わい創出、アートによる街の磁力向上に取り組んで参ります。

新虎通り CORE ミューラル作品 概要

主催	: 森ビル株式会社
制作場所	: 新虎通り CORE1階 「THE CORE KITCHEN / SPACE」
制作日程	: 2018年11月29日(木)~12月21日(金)
プロデュース	: 飯田昭雄 (Gensler)
アーティスト	: HITOTZUKI (ヒトツキ)

ミューラルアート完成記念イベント 開催概要

日時	: 2018年12月22日(土) 16:00~21:00
会場	: 新虎通り CORE 1F 「THE CORE KITCHEN / SPACE」
料金	: ¥1,000 (1ドリンク)
ゲスト	: 飯田昭雄 (プロデューサー) / HITOTZUKI (アーティスト) 矢部直 (DJ) / OLIEVE OIL (DJ) / FUMITAKE TAMURA aka BUN (DJ) / HIDDENKA (DJ/MC)

アーティスト情報

プロデューサー：飯田昭雄 (Gensler)

美大生時代、勅使川原三郎氏のダンスカンパニー「KARAS」の立ち上げメンバーとして、山口小夜子と共にパリを始め国内外で活躍。

「Wieden+Kennedy Tokyo」にてアートバイヤーとして活動する中、東日本大震災後、宮城県石巻市において一般社団法人 ISHINOMAKI2.0 を地元と東京の仲間と共に立ち上げる。現在、アメリカ最大の建築設計会社「Gensler」においてクリエイティブプロデューサーとして在籍中。



コメント

街や空間を活用した最もダイナミックな表現方法が、Mural Art だと思います。まさにこれからの新しい文化の発信拠点として新しく生まれ変わろうとする新虎通りの中心地から日本のストリートアートを発信することの意味は非常に大きいと思うし、だからこそ、Mural Art 界において日本最高峰と呼んでいい経験と実力を持つ HITOTZUKI をキュレーションしました。彼らの作品を見て何を感じ、何を思うかは、見る人それぞれ次第なので思いつき自由で作品を楽しんでください。その自由こそがまさにアートの本質なのであります。

アーティスト：HITOTZUKI (ヒトツキ)

お互いが独立したアーティストであり夫婦でもある KAMI と SASU によるアートユニット。1999 年から共同制作を開始し、日本のストリートアートをネクストレベルへと押し上げたパイオニア的存在。世界を舞台に壁画制作を中心に活動中。“HITOTZUKI”は「日と月」、太陽と月を意味し、男と女、+と-、陰と陽など、相反する二つが調和して一つの世界を創るという制作の意が込められている。まさにこの二人でしか表現できない唯一無二の世界観を生み出している。



コメント

この THE CORE の壁を見たときに、今まで温めていた一つの実験的試みができるかと確信しました。公開制作という緊張感と即興性を伴った表現から偶発的の奇跡が生まれることを期待しています。虎ノ門というビジネス街の中で、我々のフィジカルを伴う動物的リアルな表現が、そこで働く人々の心に響くインパクトや新しい生き方の提案に繋がることを願っています。私たちが人生の瞬間瞬間を克明に残しながら映し出すのは、表面的な美しさだけでなく、その裏にある本質的美しさであることを感じてください。



左：HITOTZUKI
《The Firmament》
2010年 壁面にペイント、
スケートランプ

右：HITOTZUKI
《Black Citrus Insight》
2015年 壁面にペイント

ミューラルアート完成記念イベントについて

新虎通りに新たに生まれるシンボルの誕生を祝して、12月22日(土)の16:00~21:00にスペシャルイベントを開催します。当日は作品のお披露目に加え、HITOTZUKIのプリント作品や、アートプロダクトを扱うポップアップストアも、この日限定でオープンする予定です。また、ジャズを中心とした選曲でワールドワイドに活躍するDJ・ミュージシャンの矢部直、HIP HOPを中心としたトラック制作を得意とする音楽プロデューサー・DJのOLIEVE OIL等もプレイ。アートから音楽まで、新しい日本のストリートカルチャーを体感できます。

MURAL(ミューラル)について

「MURAL(ミューラル)」とは、街にある既存のビルの壁面や建造物をキャンバスにアーティストが制作する公共アートです。ストリートカルチャーをルーツにもつシンプルかつダイナミックなこの新しいアートフォームは、昨今、世界各地の大都市からローカルタウンまでそれぞれ様々な目的をもって歓迎され、広く浸透し始めています。ニューヨーク、ベルリン、モントリオール、シカゴ等多くの都市ではすでに、観光のコンテンツとして認められ、自治体が積極的に制作の補助や維持、作品の紹介が行われて、成功を収めています。